

平成 26 年度
石神第二小学校
学校図書館支援活動記録



南相馬市立中央図書館

学校図書館支援員

杉 千尋

1 学校の概要

(1) 担当学校の紹介

石神第二小学校は児童数249名、学級数13学級の学校である。

東日本大震災に関係した福島第一原子力発電所事故の影響を受けた。直後は、多くの児童が避難のために転校や特例措置で避難先の小学校へ通っていた。しかし、震災から3年が経ち、徐々に帰還する家庭も多く見られる。

その一方で、自宅が特定避難勧奨地点に当たる児童もおり、区外や市外の仮設住宅からバス等で通学する児童も多数いる状態である。そのため、バスに時間に合わせての生活になり、思うように学校図書館を利用できない児童が数多くいる現状である。

図書室は3階のほぼ中央に位置し、5年生と6年生の教室に挟まれる形になっている。夏休み以降は耐震工事による教室移動で、工事との境になる教室へ図書準備室が、その隣の教室へ図書室が移動した。

平成26年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
34名	25名	46名	43名	44名	57名	249名

(平成26年4月末時点)

学校派遣日数 月・木・金曜日 週3回

図書担当教員 齋藤由美子教諭

学校図書館蔵書数(4月当初) 10,730冊

学校図書館受入冊数(2月末時点) 558冊

うち 市費購入冊数及び金額 271冊(421,239円)

P T A 図書費購入冊数及び金額 29冊(37,800円)

寄贈資料点数 258点

(2) 教育方針について

学校経営グランドデザイン(別紙1)および図書館教育計画(別紙2)を参照。

これらの方針を受け、学校図書館への支援を行う。

2 本年度の課題

(1) 昭和年号に受け入れた図書の廃棄

昨年度廃棄基準のひとつとした昭和年号に受け入れをした古い図書でも、0類から8類を中心に買い替えるまで廃棄を保留としていた図書が多数ある。今年度は、耐震工事による教室移動も控えており、担当教諭とも話し合いながら改めて取り組みたい課題である。

(2) 耐震工事に伴う教室移動に関する作業

夏休み前後に耐震工事が実施される。これに伴う教室移動が控えており、移動等の作業も入ってくる。移動先の教室は現在の図書室よりも手狭になるため、昨年度に引き続き開架として図書室に置く図書と図書準備室に置いている閉架図書とともに、今後はコンテナ等へ入れて保管しておく図書を選ぶ必要がある。

(3) 背ラベルの整備

現在の正確な分類でない背ラベルの状態では、学校図書館支援員以外の人間が書架整理を行っても配架違いを正すことができないのが現状としてある。そのため、しっかりとした分類に成された背ラベルの整備を急ぎたい。

3 活動の方針

担当教諭との話し合いの結果、今年度の貸出は昨年度よりも早めて4月下旬から行うこととなった。これは各学年の国語科に学校図書室利用を前提とした単元があることから「早めに貸出しができるようにしておいてほしい」との先生方から要望があったためである。

また、例年、10月頃から貸出開始となっていた1年生も担任の先生からの要望を受け、6月に貸出オリエンテーションを行い、貸出を開始することとなった。

廃棄に関しては、話し合いの結果、昨年度は買い替えまで保留としていた0類から8類の昭和受入図書も耐震工事の教室移動に向けて順次廃棄を行うこととした。廃棄したものの中から必要と思われる図書は購入を検討し、今年度や来年度の市図書費等で対応することとした。

そのほか、本年度も保護者から図書ボランティアを募集し、週に1回程度、図書室の環境整備や読み聞かせなどに協力してもらうこととなった。

学校図書室年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書室との連携
4月	・貸出開始（2年～6年） ・杉並文庫選書開始（～6月）	・学級文庫配本 ・前期組織編成 ・前期貸出当番開始	・第1回学校支援会議 ・図書の借用開始（～3月）
5月	・国語科発展授業（2年） ・昭和年号受入図書廃棄（～6月）	・低学年への読み聞かせ ・本の紹介	・第2回学校支援会議
6月	・貸出オリエンテーション（1年） ・杉並文庫選書終了 ・国語科発展授業（3年） ・昭和年号受入図書廃棄終了	・低学年への読み聞かせ ・本の紹介	・第3回学校支援会議
7月	・市図書費選書開始（～9月） ・耐震工事に伴う教室移動	・1学期貸出未返却図書の督促 ・夏季休業貸出	
8月	・図書準備室書架整理		・第4回学校支援会議
9月	・国語科発展授業（4年） ・図書準備室書架整理	・夏季休業未返却図書の督促 ・前期読書賞集計	
10月	・杉並文庫納品、受入 ・図書準備室書架整理	・後期組織編成 ・後期貸出当番開始	・第5回学校支援会議
11月	・市図書費納品、受入 ・国語科発展授業（5年） ・背ラベル整備開始（～2月）	・本の紹介 ・読書マラソン実施	
12月		・低学年への読み聞かせ ・2学期貸出未返却図書の督促 ・冬季休業貸出	・第6回学校支援会議
1月	・国語科発展授業（6年）	・冬季休業未返却図書の督促 ・低学年への読み聞かせ	
2月	・国語科発展授業（1年） ・背ラベル整備終了	・3学期貸出未返却図書の督促	・第7回学校支援会議
3月	・学級文庫返却 ・耐震工事に伴う教室移動準備	・後期読書賞集計	

4 本年度の主な活動内容

(1) 1年間の目標

- ①昭和受入図書の廃棄をおおむね終了する。
- ②年間の個人貸出冊数が児童1人あたり20冊程度を維持する目標へ支援する。

(2) 1年間の活動記録

4月

昨年度末に回収しなかった学級文庫を引き続き各クラスへ配本した。図書担当の先生と話し合い、50冊を基本とし、それに満たない学級は不足分を追加して配本を行った。

また、国語科に学校図書室利用を前提とした単元がある関係で、今年度は例年よりも早く4月

下旬より貸出を行った。

「としょかんだより」(別紙3)も昨年度に引き続き発行することとなった。発行の目安は月に1回程度である。

その他、今年度より「読解力の向上」や「新聞活用教育」といった指導要領に対応できるよう図書館には新聞も置くこととなり、児童の目にとまりやすい入口脇に場所を配備した。(写真1、写真2)



写真1
入口脇に新聞コーナー



写真2
今日の新聞は
1面を広げて置いた

5月

雑誌については、図書担当教諭と話し合った結果、低学年向けの「小学一年生」「小学二年生」をはじめ、「ディズニーファン」や「Number」、授業でも使用することを見据えた「ジュニアアエラ」など計9種の購入となった。(写真3)

写真3

雑誌は計9誌の購入



また、図書ボランティアの活動は5月より始まり、主に昭和受入図書の廃棄を一緒に行った。また、後述の耐震工事に伴う教室移動の際も大きな力となっていた。

6月

1年生の貸出オリエンテーションを行い、全学年の貸出が開始となった。

国語科発展授業として、2年生でブックトークと読み聞かせを行った。

ブックトークは教科書で紹介されている本を中心として紹介し、その中から絵本の読み聞かせを行った。読み聞かせでは、PTA図書ボランティアの方にも入っていただき実施した。(写真4、写真5)



写真4
2年生のブック
トーク



写真5
2年生の読み聞かせ
(PTA図書ボラン
ティアによる)

また、耐震工事に伴う教室移動へ向け、引き続き開架として図書室へ置く本の選書を行った。選書内容としては、過去3年間に受入した本を中心に、児童に人気の本など3,000冊程度を選び、開架に出すこととなった。

7月

耐震工事に伴う教室移動の打ち合わせを行い、可能な限り開館をすることとなった。そのた

め、6月下旬から7月上旬にかけての2週間のみを休館とし、その間に教室移動に関するすべての作業を完了させた。(写真6、写真7、写真8)

その際、図書ボランティアの協力が大きな力となった。ボランティアの方々は通常週1回程度の活動であるところ、教室移動中は2週にわたり支援日の3日間すべてで協力いただいた。

なお、移動先の教室では7月の夏季休業貸出の開始に合わせて開館し、多くの児童の来館があった。



写真6 作業途中の移動先図書室



写真7 移動には図書ボランティアの協力が大きな力となった



写真8
移動完了後の図書室

また、7月には国語科発展授業として3年生の「慣用句調べ」で担任と学校図書館支援員によるT・T授業を行った。その際、調べ学習に使う資料は中央図書館より貸出を行い、夏休み期間での利用も視野に入れてそれらの本がある8類の棚を中央図書館の館内写真を示しながら紹介した。(別紙4)

8月

図書準備室の整理を行い、9類の物語、絵本に関しては著者記号による配架を行った。しかし、耐震工事に伴う教室移動中は図書準備室が他の特別教室準備室等と兼用になるため、書架が塞がれるなどして0類から8類に関しては思うように行えなかった。

移動した先の図書室では児童用のランドセルロッカーを書架として使用していたが、奥行が広く、利用するうちに本が奥へ深く埋もれてしまうことがたびたびあった。(写真9)そこで空の段ボールを使用し、埋もれず、児童が取り出しやすいようにした。(写真10)



写真9

奥行きがあるため、本が深く埋もれてしまう



写真10

空の段ボールを使用して、深く埋もれないように

また、移動先の図書室で雨漏りが確認されたため（写真11）、書架を移動させ、水濡れを避けるよう配慮した。

写真11
移動先の図書室で雨漏りを確認した



9月

杉並区からの寄付で購入した杉並文庫が届き、受入を行った。

今年度は廃棄を行った0類から8類、特に2類の伝記を中心として選書を行った。また、児童の利用が多いシリーズの物語や絵本なども選書に加えた。（写真12）

写真12
伝記を中心に選書した



杉並文庫

図書ボランティアの協力を得て、9類の物語や昔話絵本を中心に背ラベルの整備も開始した。その際、分類は中央図書館のものを参考にし、中央図書館と同じ2段ラベルのものを使用した。

10月

耐震工事による教室移動で低学年と支援学級は仮設校舎への移動となった。これにより以前よりも図書室が遠くなり、利用が減少傾向にあった。

そこで教室移動を機に使用していなかった書架を利用して仮設校舎の廊下へ特別図書コーナーを設置した。（写真13）

特別図書コーナーでは低学年の利用を想定し、絵本や文字の大きい低学年向けの物語など約300冊を図書室および図書準備室から選び、配架を行った。

また、低学年向けの雑誌「小学一年生」、「小学二年生」、および「ちゃぐりん」の3誌についても特別図書コーナーへ移動した。この特別コーナーからの貸出は毎週金曜日の業間、昼休みに行くこととした。

なお、このコーナーの設置により、図書室への来館が減少していくことを懸念し、図書担当の先生と、昨年度および今年度に受け入れをした新しい図書に関しては、原則として図書室へ置くことと決めた。



写真13 特別図書コーナーの様子

11月

市図書費で購入した本の受入を行った。

また、国語科発展授業として5年生でブックトークを行った。椋鳩十の「大造じいさんとがん」の学習に関連して、テーマを「人間と動物のかかわり」とし、約50冊の本の紹介を行った。（写真14、写真15）

また、この単元では本の帯を作るということで、市図書費で購入した本から帯の付いた本を15冊程度見本として図書室から貸出した。



写真14

ブックトークのテーマは「人間と動物のかかわり」

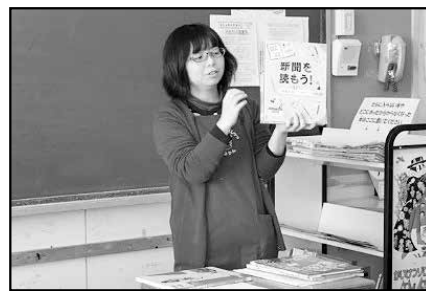


写真15
紹介した本は約50冊

12月

4年生の国語科発展授業として、単元の「新聞をつくろう」に関連したブックトークを行った。(写真16)

写真16
新聞についての本を紹介



また、実際の新聞を使って紙面の仕組みも紹介した。
(写真17、写真18)

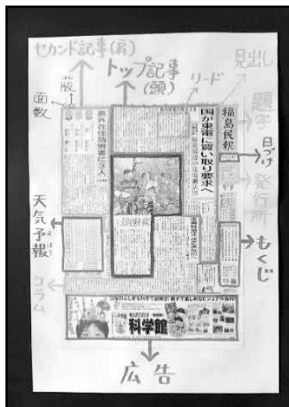


写真17
実際の新聞で紙面の仕組みを紹介

写真18
児童には縮小コピーしたものを配布



1月

P T A図書費で購入した本の受入を行った。

また、図書委員会でおすすめの本を選び、お昼の放送で紹介した。



図書室ではそれらの本を集めてコーナーを作り、展示した。(写真19)

表紙を見せて展示したこともあり、多くの児童が借りていく様子が見られた。

写真19
図書委員のオススメの本を展示

2月

1年生の国語科発展授業として読み聞かせを行った。

震災以前に活動していた石神二小読み聞かせボランティア「さくら」のみなさんへ声かけを行い、一緒に読み聞かせへ参加していただいた。(写真20、写真21)



写真20
「さくら」の方々の読み聞かせ



写真21
児童はおはなしに夢中

3月

依頼があり、5年生で伝記をテーマにブックトークを行った。(写真22)

いくつかのジャンルに分けて約30人の伝記を紹介し、そのままクラスへ貸出を行った。

また、テレビゲームの影響で戦国武将等に興味を持つ児童が多いため、ブックトーク後に20冊ほど追加で貸出をした。

写真22
伝記をテーマにブックトーク



5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・本の分類の確認
- ・杉並文庫及び市図書費の発注処理

6 学校図書室利用実績

(1) 年間貸出冊数

① 個人貸出冊数 ※1 ※2 (単位：冊)

	1年※3 (2クラス)	2年 (1クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	月合計	一人当たり
4月	-	37	99	52	49	68	305	1.4
5月	-	31	129	113	134	88	495	2.3
6月	146	22	97	88	70	98	521	2.1
7月※4	136	75	129	124	65	142	671	2.7
8月	31	22	16	8	3	26	106	0.4
9月	69	22	101	48	14	91	345	1.4
10月	87	44	85	100	35	68	419	1.7
11月	80	35	119	118	47	93	492	2.0
12月※5	133	85	183	150	76	162	789	3.2
1月	45	57	80	30	12	44	268	1.1
2月	81	58	71	77	30	37	354	1.4
3月※6	8	0	8	6	0	2	24	0.1
学年合計	816	488	1117	914	535	919	4789	19.2

- ※1 1度に1人1冊1週間の貸出
- ※2 貸出は4月21日より2年生以上を対象に開始
- ※3 1年生の貸出は6月にオリエンテーションを行った後に開始
- ※4 夏休み貸出（1人3冊以内、一部学級によっては5冊以内、夏休み終了までの貸出）を含む
- ※5 冬休み貸出（1人3冊以内冬休み終了までの貸出）を含む
- ※6 春休み前の返却期間確保のため6日までの貸出

② 学級文庫貸出冊数（単位：冊）

	1年 (2クラス)	2年 (1クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	月合計	一クラス当たり
4月	100	50	100	100	100	100	30	580	52.7
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	4	4	4	4	4	4	0	24	2.2
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	100	50	100	100	100	100	30	580	52.7
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学年合計	204	104	204	204	204	204	60	1184	91.1

- ※ 1クラス当たりは支援学級を含まない11クラスでの冊数

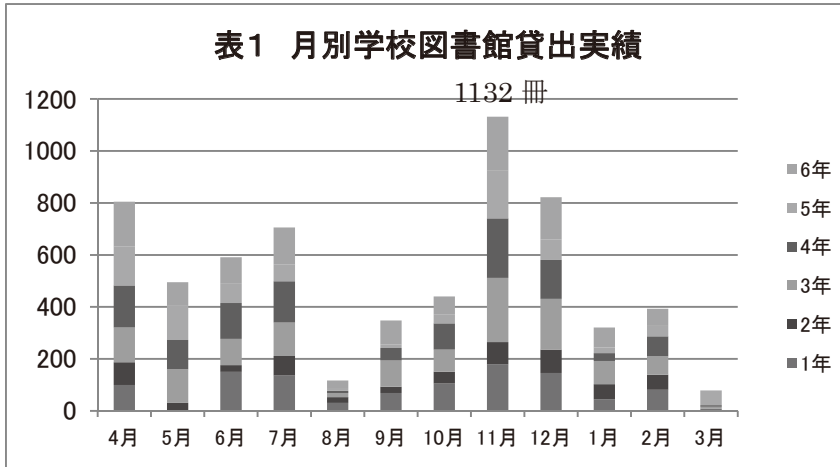
③ 調べ学習等貸出冊数（単位：冊）

	1年 (2クラス)	2年 (1クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	月合計	一クラス当たり
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	46	2	0	10	58	5.3
7月	0	0	6	35	0	0	0	41	3.7
8月	0	0	0	0	0	3	8	11	1
9月	0	2	0	0	0	1	11	14	1.3
10月	18	0	0	1	0	0	2	21	1.9
11月	0	0	13	1	36	4	6	60	5.5
12月	13	5	12	0	0	0	3	33	3
1月	0	1	9	0	0	33	10	53	4.8
2月	0	0	0	0	10	29	17	56	5.1
3月	0	0	0	0	55	0	0	55	4.2
学年合計	31	8	40	83	103	70	67	402	30.9

- ※ 1クラス当たりは支援学級を含まない11クラスでの冊数

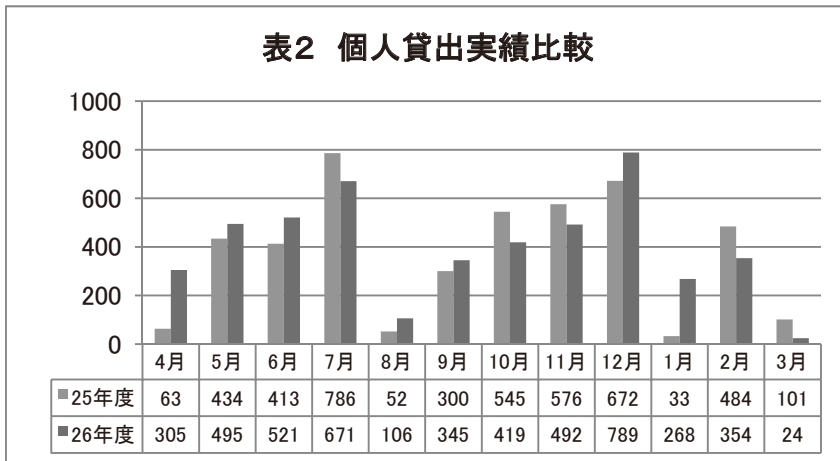
(2) 学校図書館利用実績

今年度の月別学校図書館貸出実績については次の通りとなる。(表1)



11月は学級文庫の入れ替えを行った影響もあり、1132冊と年間で唯一の1000冊超となった。逆に個人貸出期間が1週間程度であった8月と3月はいずれも100冊前後にとどまった。

また、昨年度と今年度の学校図書室の個人貸出実績を比較すると次の通りとなる。(表1)



7月は耐震工事に伴う教室移動を受け、2週間の休館があった。そのため、個人貸出冊数にも影響が出たものと思われる。

また、10月以降は昨年度の貸出冊数に及ばなかった月がたびたび見られた。教室移動の影響も考慮する必要があるが、昨年度よりも国語科発展授業として多様な内容が増え、授業への準備に時間をかけ過ぎてしまったことが原因の1つと考えられる。授業の準備を進めながら、同時に積極的に本の紹介等が行えるようにしていきたい。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

昨年度に廃棄保留としていた0類から8類を主とする昭和受入の古い図書も廃棄の対象とし、廃棄作業はおおむね終わることができた。今後は廃棄したものを参考にしながら選書を行っていききたい。

耐震工事に伴う教室移動も図書ボランティアの協力により、2週間のみの休館ですべての作業を終えることができた。

背ラベルの整備に関しては開架として図書室に置いている図書のうち、9類の物語、昔話絵本についてはおおむね行うことができた。他の分類の蔵書、図書準備室の蔵書に関しては、引き続き整備を進めていきたい。

また、今年度の国語科発展授業は読み聞かせだけでなく、ブックトークやT・T授業など多様な形で関わる機会が増えた。先生方からの資料の貸借依頼も増えた印象があり、来年度以降もできる限り要望に応えながら学校図書館の利用増進に向け、働きかけたい。

その他、目標としていた年間の個人貸出冊数が児童1人あたり20冊程度を維持することについては、耐震工事に伴う教室移動の影響が懸念されたものの、19.2冊とおおむね達成できたと言える。

一方で新刊の案内など不十分だった面もあり、来年度は積極的に本の案内等を行い、より児童の読書意欲を促進できるよう努力していきたい。

(2) 来年度に向けた課題

本年度末に耐震工事の1期工事が終了し、来年度の貸出開始時には元の場所へ図書室が戻る予定となっている。教室移動に向けた準備も再び課題として残る。

また、本年度は先生の希望もあり、1年生の貸出オリエンテーションを6月に行い、早い段階で貸出ができるようになった。図書室のきまりごと、貸出・返却の方法については理解できた児童が多くいたが、1学期中は字を覚えたばかりということもあり、貸出カードの記入に手間取って時間内に手続きを終えられない様子がたびたび見られた。来年度は図書担当教諭、1学年担任教諭とも相談をしながら全校児童がより良い形で貸出を行えるようにしていきたい。